



SEE MORE JESUS • WANTTOSEEMORE.COM

聖書は知識について何と言っているか？ — 実践編・ストロング番号付き欽定訳聖書

それを生きる・神との歩み — 這う、歩く、走る、走り終える

知識 — 聖書の基礎教理

開会の言葉

知識は人の内に生まれるものではなく、見出されねばならないものである。そして見出すことは一つの歩みである。子供は一日で歩けるようにはならない。まず這い、すべてが彼にとって新しいものであり、父の声と父の顔を学んでいく。それから歩くことを教えられ、一步一步、彼は歩き、家の配置が彼にとって親しいものとなっていく。そして彼は成長し、走るようになる。よく走る者は競走を走り、その競走には終わりがあり、その終わりには褒賞がある。神を知ることそのようなものである。ヘブライ語の言葉はダアト(H1847、知識)であり、ヤーダー(H3045、知る)から来ている——ストロングによれば、見ることによって正しく知ること、知り合いになること——それは単なる書物の学びではなく、親しい友を知ることである。ギリシャ語の言葉はグノーシス(G1108、知識)であり、ギノースコー(G1097、知る)から来ている。始める前にこれをよく注意して見よ。聖書において、知識とは何よりもまず、一人の人格を知ることである。この study は、人の全生涯の旅路を通して知識をたどっていく。這うことしかできず、それを求めて泣き叫ぶときにいかにしてそれを見出すか。それを得た後、それをどうするか。それを持って走るとき、いかにして神の軍隊の兵士のようにそれを献げるか。そして走路の終わりにおいて、それがどうなるか——そこで彼は、自分が知られているように知るのであり、そこで我らの神の言葉は永遠に立つ。それを探し求めよ。

本研究が答える三つの問い:

1. 知識はどこに見出され、人はどのようにして最初にそれに至るのか。
2. 人は知識を得たら、それをどうすべきであり、それは日々の歩みの中でどのように保たれるのか。
3. その競走はどのように終わるのか——知識はゴールにおいてどうなるのか、そして永遠に残る言葉とは何か。

ギリシャ語キーワード

“知識” — G1108 gnosis — 知ること(行為);知識、学問

私たちの主の恩恵と知識において成長しなさい

“知る” — **G1097 ginosko** — 知る;気づく、認識する、理解する
汝を知ること、これ永遠の生命なり

“知識” — **G1922 epignosis** — full knowledge、承認すること
御心を知る知識に満たされ

“知る” — **G1921 epiginosko** — 十分に知る、認識する、認める
その時には、知られているように、はっきり知るであろう

“研究” — **G4704 spoudazo** — 努力する、努める、労苦する
神に自分自身を、ふさわしい者として示すために励みなさい

“言葉を正しく分かつ” — **G3718 orthotomeo** — 正しく分ける、直線に切る
真理の言葉を正しく分ける

“知る” — **G1492 eido** — 見る、認識する、知る
私は信じている者を知っている

(私自身の考察——単語がどのように構成されているかに注目してほしい。ギノーシス(G1108、知識)はギノースコー(G1097、知る)から来ており、ストロングによればギノースコーとは絶対的に知ること——気づく、認識する、理解することである。そしてギノーシスには聖書の中でより大いなる仲間がいる。それはエピグノーシス(G1922、知識)であり、エピギノースコー(G1921、完全に知る)から来ている——ストロングはこれを認識、完全な洞察、承認と呼んでいる。前者は知ることであり、後者は満たされた知ることである。この学びを通してタグに注目してほしい——私たちはギノーシスにおいて成長し、エピグノーシスによって満たされる——そしてゴールにおいて、私は、私自身が知られているのと同じように知るようになるのだ。)

ヘブライ語キーワード

“知識” — **H1847 daath** — 知識、巧妙さ、技能、知覚
主を恐れることは知識の初めである

“知る” — **H3045 yada** — 見ることによって知る、確認する;精通する、認める
主を知ることに従い行くなれば、そのとき我らは知るであろう

“理解” — **H998 biynah** — 理解、知識、知恵
理解を求めて声を上げよ

“フォローアップ” — **H7291 radaph** — 追いかける、追い求める、追跡する
LORDを知るために従う

“蓄える” — **H6845 tsaphan** — 隠す、蓄える、秘密にしておく
知恵ある者は知識を蓄える

“力” — **H3581 koach** — 力、権力、強さ
知識ある人は力を増す

“保つ” — **H8104 shamar** — 保つ、見張る、守る、保存する
祭司のくちびるは知識を守るべきである

“メッセンジャー” — **H4397 malak** — 使者、御使い、大使
彼は万軍の主の使者である

“知識” — **H1844 deah** — 知識
地は主を知る知識で満たされる

“教えられた” — **H3928 limmud** — 教えられた、学んだ、弟子
LORDに教えられたる汝の子らは皆平安なるべし

(私個人の考え——ダアト(H1847、知識)はヤダ(H3045、知る)から来ており——デアー(H1844、知識)もそれと近い関係にあり、両方ともあの一つの語根から来ている——そしてストロングによれば、ヤダは本来、見ることによって知ることを意味する——見慣れた友のように、親しく知り合うことである。旧約聖書における神を知ることは、遠く離れた学びではない。それは親密な知り合いである。そして、この言葉がなぜその位置に置かれているかに注目してほしい。知恵によって家は建てられ、悟りによってそれは堅く立てられ、そして知識によって、あらゆる貴く美しい富で部屋々は満たされる。知恵が家を建て、ダアトが部屋を満たす。知識とは、運び込まれる宝である。)

I. 探し方 — 見つけ方

(私自身の思い——すべての歩みは低いところから始まる。知識もまた同じである。神を知って生まれる者はいない。神を見出さなければならないのだ。そして、その見出しがどこから始まるかに注目してほしい——それは主を恐れることから始まる、と書にはある。赤子は持たないものを求めて泣く。そして主は、知識——ダアト(H1847、知識)——を求める叫びを、父がわが子の声を聞くように聞いてくださる。叫び求めよ、尋ね求めよ、探し求めよ。約束は求める者に与えられ、与える方は神である。)

A. 箴言 1:7 主を恐れることは知識のはじめである、愚かな者は知恵と教訓を軽んじる。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3374 yirah ・ ■ H7225 reshith ・ ■ H1847 daath

主を恐れることは、知識の初めである。

B. 箴言 2:3 しかも、もし知識を呼び求め、悟りを得ようと、あなたの声をあげ、

原語キー / **STRONG'** S: ■ H7121 qara ・ ■ H998 biynah

しかも、もし知識を呼び求め+悟りを得ようと、あなたの声をあげ、

C. 箴言 2:4 銀を求めるように、これを求め、かくれた宝を尋ねるように、これを尋ねるならば、

原語キー / **STRONG'** S: ■ H1245 baqash ・ ■ H2664 chapphas

銀を求めるようにこれを求め、かくれた宝を尋ねるようにこれを尋ねよ。

D. 箴言 2:5 あなたは、主を恐れることを悟り、神を知ることができるようになる。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H4672 matsa ・ ■ H1847 daath

あなたは、主を恐れることを悟り+神を知ることができるようになる。

(私個人の思い——このようにして求めるその順序に注目してほしい。叫び、声をあげ、尋ね求め、探し出す——それから初めて見出す。そして聖句Bのタグを見てほしい。そこにある言葉はビーナー(H998、悟り)である。知識を求める叫びと、悟りを求める叫びは、一つの叫びなのだ。銀を求めるように知識を尋ね求める者は、銀にまさる宝を見出すであろう。それは神を知る知識である。)

E. 箴言 2:6 これは、主が知恵を与え、知識と悟りとは、み口から出るからである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H5414 nathan ・ ■ H1847 daath

これは、主が知恵を与え+知識と悟りとは、み口から出るからである。

F. ヤコブの手紙 1:5 あなたがたのうち、知恵に不足している者があれば、その人は、とがめもせずに惜しみなくすべての人に与える神に、願い求めるがよい。そうすれば、与えられるであろう。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G154 aiteo ・ ■ G1325 didomi

神に願ふべし、凡ての人に惜しみなく與ふる者なれば+與へられん。

(私自身の思い——ソロモンとヤコブを並べて見てみる。主が知恵を与えられる、と一方は言う。神に求めよ、すべての人に惜しみなく与えてくださる、と他方は言う。見出すことは購入ではない。知識は御口から出るのであって、求める者はただ手を開いて受け取る者にすぎない。)

G. 箴言 18:15 さとき者の心は知識を得、知恵ある者の耳は知識を求める。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H7069 qanah ・ ■ H1847 daath

さとき者の心は知識を得+知恵ある者の耳は知識を求める。

H. 詩篇 94:10 もろもろの国民を懲らす者は罰することをしないだろうか、人を教える者は知識をもたないだろうか。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3925 lamad ・ ■ H1847 daath

人を教える者は知識をもたないだろうか？

I. 詩篇 25:9 へりくだる者を公義に導き、へりくだる者にその道を教えられる。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H6035 anav ・ ■ H3925 lamad

へりくだる者を公義に導き+へりくだる者にその道を教えられる。

J. ホセア書 6:3 わたしたちは主を知ろう、せつに主を知ることが求めよう。主はあしたの光のように必ず現れいで、冬の雨のように、わたしたちに臨み、春の雨のように地を潤される。」

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3045 yada ・ ■ H7291 radaph

そうすれば、私たちは知るに至るであろう+もし私たちが主を知ることを追求めらば。

(私の個人的な思い——ここに子どもの最初の動きがある。彼はついて行く。radaph(H7291、追いかける)は、何かを激しく追いかけることを表すストロングの言葉である。赤ん坊は父親について家中を歩き回ることによって、父親を知る。主を知ることのもそのようなものである——一日にして勝ち取られるものではなく、ついて行く者に与えられるものである。)

K. ヨハネによる福音書 7:17 神のみこころを行おうと思う者であれば、だれでも、わたしの語っているこの教が神からのものか、それとも、わたし自身から出たものか、わかるであろう。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1097 ginosko ・ ■ G1322 didache

人が神の御心を行おうとするならば、彼はその教えを知るであろう。

L. マタイによる福音書 11:29 わたしは柔和で心のへりくだった者であるから、わたしのくびきを負うて、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたの魂に休みが与えられるであろう。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3129 manthano ・ ■ G2147 heurisko

私の軛を負い、私に学びなさい。そうすればあなたがたの魂に休みを得るであろう。

(私の個人的な思い——言うことは一人の人格において終わる。主は、私の書物だけから学べとは言わない。むしろ、わたしから学べと言われる。そして行うことは知ることと先立つ——もし誰かが御心を行おうと願うなら、その人はその教えについて知ようになる——子どもが歩くことを理解する前に歩くのと同じように。今、あなたは彼を見出したのだから、起き上がって歩きなさい。)

II. 歩む — それを得たときに、それをどうすべきか

(私自身の思い——幼子は自分の足で立った。次に来るのは、それを保ち続けることである。見出された知識は蓄えられねばならず、蓄えられた知識は生き抜かれねばならない。証人たちにおけるこの段階の二つの務めに注目してほしい。それを育てること、そしてそれを保つこと。そして、その中間に置かれた警告に注目してほしい。知識はそれ自体だけで持たれるならば人を高ぶらせるが、愛とともに持たれる知識は人を、そしてその兄弟をも共に、build up〈築き上げる〉。)

A. ペテロの第二の手紙 3:18 そして、わたしたちの主 また 救主 イエス・キリストの恵みと知識とにおいて、ますます豊かになりなさい。栄光が、今も、また永遠の日に至るまでも、主にあるように、アアメン。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G837 auxano ・ ■ G1108 gnosis

恵みにおいて、また私たちの主であり救い主であるイエス・キリストを知る知識において成長しなさい。

B. ペテロの第二の手紙 1:5 それだから、あなたがたは、力の限りをつくして、あなたがたの信仰に徳を加え、徳に知識を、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4710 spoude ・ ■ G1108 gnosis

ひたすら努力を尽くして、信仰に徳を加え、徳に知識を加えなさい。

C. 箴言 10:14 知恵ある者は知識をたくわえる、愚かな者のむだ口は、今にも滅びをきたらせる。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H6845 tsaphan ・ ■ H1847 daath

知恵ある者は知識をたくわえる。

(私の個人的な思い——ツァファン(H6845、蓄える)は、宝を隠すことを表すストロングの言葉である。これはまさに詩篇の言葉、「あなたの言葉を私は心に蓄えました」に用いられている語である。知恵ある者は、どんな盗人も届かぬ場所に知識を蓄える。それは自分自身の内側である。心こそ、この宝のための箱なのである。)

D. 箴言 15:14 さとき者の心は知識をたずね、愚かな者の口は愚かさを食物とする。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3820 leb ・ ■ H1245 baqash ・ ■ H1847 daath

さとき者の心は知識をたずね。

E. コロサイ人への手紙 1:9 そういうわけで、これらの事を耳にして以来、わたしたちも絶えずあなたがたのために祈り求めているのは、あなたがたがあらゆる霊的な知恵と理解力とをもって、神の御旨を深く知り、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4137 pleroo ・ ■ G1922 epignosis

彼の御心を知る知識に満たされ、あらゆる知恵と霊的な理解に満たされる。

F. コロサイ人への手紙 1:10 主のみこころにかなった生活をして真に主を喜ばせ、あらゆる良いわざを行って実を結び、神を知る知識をいよいよ増し加えるに至ることである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4043 peripateo ・ ■ G837 auxano ・ ■ G1922 epignosis

主にふさわしく歩み、全てのことに主を喜ばせ、神を知る知識において成長する。

(私自身の思い——タグを見て、より大いなる言葉に注目してほしい。ペテロにおいてはグノーシス(G1108、知識)、すなわち知ることであった。しかしここではエピグノーシス(G1922、知識)であり、ストロングはこれを認識、十分な弁別、承認——満たされた知ることと呼んでいる。そして、それがどのように満ちていくかに注目してほしい。ふさわしく歩み、実を結び、その増し加わりは歩みの中で起こるのだ。知識は座に留め置かれるものではなく、道の上に保たれるものなのだ。)

G. ピリピ人への手紙 1:9 わたしはこう 祈 る。あなたがたの 愛 が、 深 い 知識 において、するどい 感覚 において、いよいよ 増 し 加 わり、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4052 perisseuo ・ ■ G1922 epignosis

あなたがたの愛が、+知識とすべての判断において、いよいよ増し加わるように。

H. コリント人への第一の手紙 8:1 偶像 への 供 え 物 について 答 えると、「わたしたちはみな 知識 を 持 っ て い る」ことは、わかっている。しかし、知識は人を 誇 らせ、愛は人の徳を 高 める。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1108 gnosis ・ ■ G3618 oikodomeo

知識は人を誇らせ、愛は人の徳を高める。

(私自身の思い——ここに、この段階全体への警告がある。知識だけを持てば人を高ぶらせる、風が皮袋を満たすように。愛は人を建てる、人が家を建てるように。そしてパウロは、LOVEが知識においてますます豊かになるように祈っている——愛が知識を担い、知識が愛の中に保たれるように。両方を伴って歩め、そうでなければ歩みは曲がる。)

I. 箴言 3:6 すべての 道 で 主 を 認 めよ、そうすれば、主 はあなたの 道 をまっすぐにされる。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3045 yada ・ ■ H3474 yashar

すべての道で主を認めよ、そうすれば+主はあなたの道をまっすぐにされる。

(私個人の考え——知識の実践的な使い方が、この一節にある。「知れ」はヤダア(H3045、知る)である。あなたのすべての道において——畑にいても、家にいても、門にいても——彼を知れ。そうすれば彼はあなたの前の道をまっすぐにされる。)

J. 詩篇 119:66 わたしに 良い 判断 と 知識 とを 教 え てください。わたしはあなたの 戒 めを 信 じ る から です。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3925 lamad ・ ■ H1847 daath

わたしに良い判断と知識とを教えてください+わたしはあなたの戒めを信じるからです。

K. ホセア書 4:6 わたしの 民 は 知識 が ない ために 滅 ぼ される。あなたは 知識 を 捨 て た ゆ え に、わたしもあなたを 捨 て て、わたしの 祭司 と し ない。あなたはあなたの 神 の 律 法 を 忘 れ た ゆ え に、わたしもまたあなたの子らを 忘 れ る。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H1820 damah ・ ■ H1847 daath

わたしの民は知識がないために滅ぼされる。

L. 箴言 24:5 知恵 ある 者 は 強 い 人 よりも 強 く、知識 ある 人 は 力 ある 人 よりも 強 い。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H1847 daath ・ ■ H3581 koach

知識ある人は力ある人よりも強い。

(私自身の思い——両方の言い分を聞き、その間を歩め。知識が捨てられる所では、民は滅ぼされる。知識が保たれる所では、人は力を得る——コーアハ(H3581、力)。知識を保つことは小さなことではない。それは民にとっては命であり、人にとっては力である。そして、その力には理由があって与えられている。走るべき競走があるのだ。)

III. 競走を走る — 神の軍隊の兵士のようにそれに従う

(私自身の思い——ここで歩みは競走となり、競走は戦いとなる。これらの証言において、その戦いが何の上で戦われているかに注目せよ。すべての高ぶりは神の知識に逆らって立ち上がる——ここでの戦場は知識そのものである。それゆえ神の人は御霊の剣を取り、知識をその唇にとどめ、柔和と恐れをもって答えを与える。兵士は自らのうちに蓄えたものを差し出すのである。)

A. コリント人への第二の手紙 10:4 わたしたちの 戦 い の 武器 は、肉 の 物 の ではなく、神 の ため には 要塞 を も 破 壊 する ほど の 力 ある も の である。わたしたちはさまざまな 議 論 を 破 り、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3696 hoplon ・ ■ G4752 strateia

わたしたちの戦いの武器は、肉のものではなく+神のためには要塞をも破壊するほどの力あるものである。わたしたちはさまざまな議論を破り、

B. コリント人への第二の手紙 10:5 神 の 知 恵 に 逆 ら っ て 立 て ら れ た あ ら ゆ る 障 害 物 を 打 ち こ わ し、すべての 思 い を と り こ に し て キ リ ス ト に 服 従 さ せ、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1108 gnosis ・ ■ G3540 noema

論議を打ち倒し、神を知る知識に逆らって立てられたすべての高ぶりを打ち倒し、すべての思いを捕虜としてとりこにする。

C. コリント人への第二の手紙 4:6 「やみの中から光が照りいでよ」と仰せになった神は、キリストの顔に輝く神の栄光の知識を明らかにするために、わたしたちの心を照して下さったのである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5457 phos ・ ■ G1108 gnosis

神の栄光の知識の光は、イエス・キリストの顔にある。

(私自身の思い——兵士は剣だけでなく、光も携えている。初めに闇の中から光を輝かせよと命じられた同じ神が、私たちの心の中に輝いてくださった。その神が与えてくださる光とは、イエス・キリストの御顔における、神の栄光を知る知識の光である。その御顔を見た者は、闇の中に座す者たちに差し出すべきものを持っている。)

D. エペソ人への手紙 6:17 また、救のかぶとをかぶり、御霊の剣、すなわち、神の言を取りなさい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3162 machaira ・ ■ G4487 rhema

また、救のかぶとをかぶり+御霊の剣、すなわち、神の言を取りなさい。

E. マラキ書 2:7 祭司のくちびるは知識を保ち、人々が彼の口から律法を尋ねるのが当然である。彼は万軍の主の使者だからだ。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H8104 shamar ・ ■ H1847 daath ・ ■ H4397 malak

祭司のくちびるは知識を保ち+彼は万軍の主の使者だからだ。

(私自身の思い——shamar(H8104、保つ)とは見張りの言葉である。人が町を守るように、守るという意味を持つ。知識は心のうちだけでなく、唇の上にも保たれる——いつでも用いられるように保たれ、真実であるように保たれ、その口から律法を求めて来る者たちのために保たれる。そして、その保つ者が何と呼ばれているかに注目せよ。malak(H4397、使者)である。知識を保つ者は、遣わされた者なのである。)

F. 箴言 15:2 知恵ある者の舌は知識をわかち与え、愚かな者の口は愚かを吐き出す。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3956 lashon ・ ■ H1847 daath

知恵ある者の舌は知識をわかち与え。

G. ペテロの第一の手紙 3:15 ただ、心の中でキリストを主とあがめなさい。また、あなたがたのうちにある望みについて説明を求める人には、いつでも弁明のできる用意をしていなさい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G627 apologia ・ ■ G1680 elpis

すべての人に対して常に答える用意をせよ+柔和と恐れをもって。

H. テモテへの第二の手紙 2:15 あなたは真理の言葉を正しく教え、恥じるところのない錬達した働き人になって、神に自分をささげるように努めはげみなさい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4704 spoudazo ・ ■ G3718 orthotomeo

あなたは真理の言葉を正しく教え+神に自分をささげるように努めはげみなさい。

(私個人の思いです——兵士の訓練とは学ぶことである。スプーダゾー(G4704、study)とは、ストロングによれば熱心であること、急ぐことを意味する。また、オルソトメオー(G3718、rightly dividing)とはまっすぐに切ることを意味する。職人はまっすぐに切る、さまなければその仕事を恥じることになる。御言葉をまっすぐに扱うなら、神の前でも人の前でも恥じる必要はない。)

I. ダニエル書 11:32 彼は契約を破る者どもを、巧言をもってそそのかし、そむかせるが、自分の神を知る民は、堅く立って事を行います。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3045 yada ・ ■ H2388 chazaq

自分の神を知る民は、堅く立って事を行います。

J. テモテへの第二の手紙 2:24 主の僕たる者は争ってはならない。だれに対しても親切であって、よく教え、よく忍び、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1401 doulos ・ ■ G1317 didaktikos

主のしもべは争ってはならず、すべての人に対して柔和で、よく教える者でなければならない。

K. テモテへの第二の手紙 2:25 反対する者を柔和な心で教え導くべきである。おそらく神は、彼らに悔改めの心を与えて、真理を知らせ、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4236 praotes ・ ■ G1922 epignosis

自ら逆らう者を柔和をもって教え→真理を悟るに至らせる悔い改めへ。

(私自身の思い——この兵士の態度に注目したい。彼の武器は強力であるが、争わない。彼は柔和であり、謙遜をもって教える。そしてこのタグを見よ。「認める」とはエピグノーシス(G1922、knowledge)であり、完全な知ることである——そしてそれを与えるのはGODである。私たちは高ぶるものを打ち壊すことはできるが、心を開くことはできない。しもべは教え、主が知ることを与える。)

L. コリント人への第一の手紙 9:26 そこで、わたしは目標のはっきりしないような走り方をせず、空を打つような拳闘はしない。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5143 trecho ・ ■ G4438 pukteuo

このように、あてもなく走るのではなく走れ+このように、空を打つのではなく戦え。

(私個人の思い——ここでは走る者と兵士とが一つの場所に立ち、知識こそが彼らを愚か者から分け隔てるものである。パウロは「あてもなく」走るのではない——彼は道と終わりを知っている。彼は空を打つのではない——彼は敵と武器を知っている。自分が誰を信じてきたかを知る者は、既知の道を走るのである。ゴールはあなたの前にある。)

IV. ゴール——知識、そして御言葉は永遠に残る

(私自身の思い——すべての競走には終わりがあり、その終わりは壁ではなく、一つの顔である。証人たちがその線の先に待っていると云うものに目を留めよう。すなわち、地は主を知る知識で満ち、いと小さき者から大なる者まで皆が主を知り、部分的なものは全きものとされる一顔と顔を合わせて、我らが知られているように知るのである。そしてそのすべての根底には、それを約束したみことばがあり、それは永遠に立つのである。)

A. イザヤ書 11:9 彼らはわが聖なる山のどこにおいても、そこなうことなく、やぶることがない。水が海をおおっているように、主を知る知識が地に満ちるからである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H4390 male ・ ■ H1844 deah

地は主を知る知識で満たされるであろう。

B. ハバクク書 2:14 海が水でおおわれているように、地は主の栄光の知識で満たされるからである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H4390 male ・ ■ H3045 yada ・ ■ H3519 kabod

地は主の栄光の知識で満たされるであろう。

(私個人の思い——二人の預言者、一つの言葉、そして育ちゆくみことば。イザヤはダアト(H1844、知識)と言う——主を知る知識である。ハバククは知ること——ヤダ(H3045、知る)——と言う——主の栄光を知ることである。その栄光はどこに見られるのか。使徒はすでに私たちに告げている。イエス・キリストの御顔における、神の栄光を知る光を。地は、いま兵士がその心に抱いているものによって満たされるであろう。)

C. エレミヤ書 31:34 人はもはや、おのおのその隣とその兄弟に教えて、『あなたは主を知りなさい』とは言わない。それは、彼らが小より大に至るまで皆、わたしを知るようになるからであると主は言われる。わたしは彼らの不義をゆるし、もはやその罪を思わない。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3045 yada ・ ■ H5545 salach

彼らはみな、いと小さき者からいと大なる者に至るまで我を知るべし+我はその不義を赦さん。

D. コリント人への第一の手紙 13:9 なぜなら、わたしたちの知るところは一部分であり、預言するところも一部分にすぎない。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1097 ginosko ・ ■ G3313 meros

なぜなら、わたしたちの知るところは一部分であり+預言するところも一部分にすぎない。

E. コリント人への第一の手紙 13:10 全きものが来る時には、部分的なものはすたれる。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5046 teleios

全きものが来る時には→部分的なものはすたれる。

F. コリント人への第一の手紙 13:12 わたしたちは、今は、鏡に映して見るようにおぼろげに見ている。しかしその時には、顔と顔を合わせて、見るであろう。わたしの知るところは、今は一部分にすぎない。しかしその時には、わたしが完全に知られているように、完全に知るであろう。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1097 ginosko ・ ■ G1921 epiginosko

わたしたちは、今は、鏡に映して見るようにおぼろげに見ている。しかしその時には、顔と顔を合わせて+しかしその時には、わたしが完全に知られているように、完全に知るであろう。

(私の個人的な思い——ここで二つのタグが一つの場所に集まり、そしてゴールラインを聞く。「今は知る」はギノスコー(G1097、知る)であり、「かの時には全く知る」はエピギノスコー(G1921、完全に知る)である——それはまさに、私たちが道の全体を通して満たされつつあった、その満たされた全体そのものである。部分的な知識は、そのラインで失われるのではない。全きものが来たので、その「部分」が廃せられるのである。鏡は取り外され、そして顔がそこにある。)

G. テモテへの第二の手紙 1:12 そのためにも、わたしはこのような苦しみを受けているが、それを恥としない。なぜなら、わたしは自分の信じてきたかたを知っており、またそのかたは、わたしにゆだねられているものを、かの日に至るまで守って下さることができると、確信しているからである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1492 eido ・ ■ G4100 pisteuo

私はわが信じたる者を知り、かつわが彼に委ねたる者をば、かの日に至るまで守り得給うことを確信す。

(私の個人的な考え——ここで用いられている「知る」という言葉はエイドー(G1492, to know)であり、ストロングによれば本来「見る」という意味である。パウロが競走の終わりに至って知っていることは、一つの見ることである。私は誰を知っているか

——単に何を知っているかではなく、誰を知っているかである。知識のゴールとは、あなたが握っている一つの事実ではなく、あなたが見る一人の人格である。)

H. ヨハネによる福音書 17:3 永遠の命とは、唯一の、まことの神でいますあなたと、また、あなたがたがかわされたイエス・キリストとを知ることです。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G2222 zoe ・ ■ G1097 ginosko

これが永遠の命である。すなわち、唯一の真の神であるあなたと、イエス・キリストを知ることである。

I. コロサイ人への手紙 2:3 キリストのうちには、知恵と知識との宝が、いっさい隠されている。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G614 apokruphos ・ ■ G1108 gnosis

キリストのうちには、知恵と知識との宝が、いっさい隠されている。

(私の個人的な思い——あのはうようにという歩みを思い出そう。銀を求めるように彼女を求め、隠された宝を探すように探し求めよ。ここ、最後に至って宝は見出される。そして、どこにあるかに注目しよう——彼の中にである。知恵と知識のすべての宝は、キリストのうちに隠されている。求める者は、実はただの物を求めているのではなく、初めから一人の人格を求めているのだ。そして彼のうちには、何一つ欠けているものがない。)

J. イザヤ書 40:8 草は枯れ、花はしぼむ。しかし、われわれの神の言葉はとこしえに変わることはない。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H1697 dabar ・ ■ H6965 qum

草は枯れ、花はしぼむ。しかし+われわれの神の言葉はとこしえに変わることはない。

K. 詩篇 119:160 あなたのみ言葉の全体は真理です。あなたの正しいおきてのすべてはとこしえに絶えることはありません。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H1697 dabar ・ ■ H571 emeth

あなたのみことばは初めから真実であり、とこしえに絶えることがない。

L. マタイによる福音書 24:35 天地は滅びるであろう。しかしわたしの言葉は滅びることがない。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3928 parerchomai ・ ■ G3056 logos

天地は滅びるであろう+しかしわたしの言葉は滅びることがない。

(私の個人的な思い——人の肉は草であり、この時代も過ぎ去る。天も地も過ぎ去るであろうが、彼の言葉は過ぎ去らない。あなたがこの書物から彼について学んだすべては続く、その書物が続くゆえに。神の知識を追い求める者は、永遠に立つものを追い求めているのであり——彼は自分が知られているように知るようになる。)

二人の口

エレミヤ書 9:24 誇る者はこれを誇とせよ。すなわち、さとくあって、わたしを知っていること、わたしが主であって、地に、いつくしみと公平と正義を行っている者であることを知ることがそれである。わたしはこれらの事を喜ぶと、主は言われる。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H1984 halal ・ ■ H3045 yada

誇る者はこれを誇るべし。すなわち我を悟りて知ることを誇るべし。

ピリピ人への手紙 3:8 わたしは、更に進んで、わたしの主キリスト・イエスを知る知識の絶大な価値のゆえに、いっさいのものを損と思っている。キリストのゆえに、わたしはすべてを失ったが、それらのものを、ふん土のように思っている。それは、わたしがキリストを得るためであり、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5242 huperecho ・ ■ G1108 gnosis

私はキリスト・イエスなる私の主を知る知識のすぐれたるために、すべてのものを損と思う。

ヨハネの第一の手紙 5:20 さらに、神の子がきて、真実なかたを知る知力をわたしたちに授けて下さったことも、知っている。そして、わたしたちは、真実なかたにおり、御子イエス・キリストにおるのである。このかたは真実な神であり、永遠のいのちである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1492 eido ・ ■ G1271 dianoia ・ ■ G1097 ginosko

神の御子は来られ、私たちに理解を与えられた。それは、真実なる者を私たちが知るためである。

コリント人への第二の手紙 13:1 わたしは今、三度目にあなたがたの所に行こうとしている。すべての事からは、ふたりか三人の証人の証言によって確定する。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3144 martus

すべての事からは、ふたりか三人の証人の証言によって確定する。

(私個人の思い——三人の証人がいて、それぞれが彼を知ることがを何よりも上に置いている。エレミヤは言う、誇る者はこれを誇れ、すなわちわたしを知っていることを、と。パウロは、キリストを知ることのすぐれた価値のゆえに、すべてを損と数えている。ヨハネは言う、御子が来て、わたしたちに悟りを与え、まことなる者を知るようにしてくださった、と。栄光、益、そして命——二人または三人の証人の口によって、それは確立される。彼を知ることこそ、宝である。)

影と実現

Shadow ホセア書 6:3 わたしたちは主を知ろう、せつに主を知ることがを求めよう。主はあしたの光のように必ず現れいで、冬の雨のように、わたしたちに臨み、春の雨のように地を潤される。

原語キー / **STRONG' S:** ■ H3045 yada

主を知ることがを追い求めよう、そのあらわれは朝のように確かなり。

Fulfillment マタイによる福音書 11:27 すべての事は父からわたしに任せられています。そして、子を知る者は父のほかにはなく、父を知る者は、子と、父をあらわそうとして子を選んだ者とのほかに、だれもありません。

原語キー / **STRONG' S:** ■ G1921 epiginosko ・ ■ G601 apokalupto

父を知る者は子のほかになく、また子と、子が父を示そうと心に定めた者のほかにはない。

Fulfillment コリント人への第二の手紙 4:6 「やみの中から光が照りいでよ」と仰せになった神は、キリストの顔に輝く神の栄光の知識を明らかにするために、わたしたちの心を照して下さったのである。

原語キー / **STRONG' S:** ■ G1108 gnosis

私たちの心に照り輝いた、イエス・キリストの御顔における神の栄光の知識の光。

(私個人の思い——ホセアは、主を知ることがを追い求めよう、その現れは明けの光のように確かである、と言った。その朝は来た。子の示すところによらなければ、だれも父を知る者はない。初めに「光あれ」と闇の中から光を命じられた神が、私たちの心の中に輝いてくださった——その光こそ、イエス・キリストの御顔にある神の栄光を知る知識である。ホセアが追い求めた「知ること」は、今や顔と名前を持っている。)

閉会

イザヤ書 54:13 あなたの子らはみな主に教をうけ、あなたの子らは大いに栄える。

原語キー / **STRONG' S:** ■ H3928 limmud

あなたの子らはみな主に教をうけ + あなたの子らは大いに栄える。

ヨハネによる福音書 6:45 預言者の書に、『彼らはみな神に教えられるであろう』と書いてある。父から聞いて学んだ者は、みなわたしに来るのである。

原語キー / **STRONG' S:** ■ G1318 didaktos ・ ■ G3129 manthano

彼らはみな神に教えられん + 父より聞きて学びし者は、みな我に来る。

(私の個人的な思い——さあ、家路の全体を集めよう。まず、はいはい歩き:主を恐れることが始まりであり、叫び、求め、銀を捜すように捜し求めるなら、主が与えてくださる——その口から知識が出る。次に、歩み:その中で成長し、心の中に蓄え、ふさわしく歩み、その中で愛を成長させ、それが誇り高ぶらせないようにせよ。次に、競走と戦い:神を知る知識に逆らって立てられたすべての高ぶるものを打ち倒し、それを唇にとどめ、柔和をもって答えをなし、御言葉をまっすぐに切れ。次に、ゴール:一部であったものは廃せられ、顔と顔を合わせて見、知られているのと同じように知り、そしてキリストの中に隠されているすべての宝が見出される——そして、そのすべてを約束した言葉は永遠に立つ。そして、イザヤの中の印を見よ:リムード (H3928, taught)は「教えを受けた者」、弟子を意味するストロング番号の語である。あなたの最初の一步を教えた者は今も教え続け、あなたの後続く子たちも——彼らは皆、神に教えられる者となる。父から学んだ者はみな、御方のもとに来る。主を知ることがを追い求めよ。)

練習クイズ

1. 箴言 1:7 — 主を恐れることは:

- a) 知識のはじめ
- b) 知恵の初め
- c) 愚か者の教訓

2. 箴言 2:4-5 — 銀を求めるように、これを求め、かくれた宝を尋ねるように、これを尋ねるならば、あなたは、主を恐れることを悟り、そして：
- 魂に安らぎを見出す
 - 神を知ることができるようになる
 - c) 主を知る知識を見出す
3. ホセア書6:3 — もしわたしたちが○○○ならば、そのとき、わたしたちは知ようになる。
- a) 主を知ることを切に求める
 - b) 銀を捜すように彼女を求める
 - c) 神の御心を行う
4. ヨハネ 7:17 — 神のみこころを行おうと思う者であれば、だれでも：
- a) 神の知識を見つける
 - b) 恵みにおいて成長する
 - c) 教の中身を知る
5. コリント人への手紙第二 10:5 — 神の知恵に逆らって立てられたあらゆる障害物を打ちこわし、
- a) キリストの服従
 - 神の知恵
 - 真理の言葉
6. マラキ書2:7 — 祭司のくちびるは知識を保ち、人々が彼の口から律法を尋ねるのが当然である。彼は：
- a) 恥じることの無い働き人
 - b) 主のしもべ
 - 万軍の主の使者
7. コリント人への第一の手紙13:12 — わたしたちは、今は、鏡に映して見るようにおぼろげに見ている。しかしその時には、顔と顔を合わせて、見るであろう。わたしの知るところは、今は一部分にすぎない。しかしその時には：
- その時には、わたしが完全に知られているように、完全に知るであろう
 - b) 全部なるものが来らん時は、部分的なるものは廃らん
 - c) 私たちは一部分だけ預言する

解答: 1-a, 2-b, 3-a, 4-c, 5-b, 6-c, 7-a

このスタディの分岐

影がどのように光をもたらすか。祭司の唇は知識を守るべきである、彼は万軍の主の使者であるから(マラキ書2:7) — その職務を、あなたがたを暗闇から驚くべき光へと召し出してくださった方の誉れを言い表す王なる祭司職(ペテロ前書2:9)と並べて置き、それ自体の研究に備えなさい。

新しい契約がこれをいかに説明しているか。「人おのおのその隣人と、その兄弟とに教えて、汝、主を知れ、とすることなかるべし。そは、身分の低き者より高き者に至るまで、みな我を知るべければなり」(エレミヤ書31:34) — そして新約聖書もこれを一語一語受け継いで言う。「我わが律法を彼らの精神に置き、……小なる者より大なる者に至るまで、みな我を知るべければなり」(ヘブル書8:10-11)。預言者が約束したことを、契約が成し遂げるのである。

言葉の違いが重要である。「今知る」はギノスコー(G1097、知る)であり、「そのとき知る」はエピギノスコー(G1921、完全に知る)である — 一つの箇所に二つの言葉(コリント人への第一の手紙13:12)。そして「真理を悟ること」(テモテへの第二の手紙2:25)と「御心を知ること」(コロサイ人への手紙1:9)も同じ完全な言葉を用いている — どの言葉がどこに置かれているか、そしてその理由に注目せよ。

→それが永遠に至る様:永遠の命とは、彼らがあなたを知ることであり(ヨハネ17:3) — そして地は主を知る知識で満たされる(イザヤ11:9)。ハイハイの内に始まった知ことは天と地を過ぎ去っても続く、なぜなら彼の言葉は決して過ぎ去ることがないからである(マタイ24:35)。

寄り道:善悪を知る木は書物の最初の門に立っていた(創世記2:9,17) — 言葉に逆らって取られた知識は死をもたらした。キリストにおいて与えられる神を知る知識は永遠の生命である(ヨハネ17:3) — これを探り出せ。

→可能な啓示:知識は人を高ぶらせるが、愛は徳を建てる(コリント人への前の書8:1)。またパウロは、愛が知識と共になおいや増さんことを祈っている(ピリピ人への書1:9) — 愛の外に運ばれる知識は人を高ぶらせ、愛の内に運ばれる知識は家を建てる。器は愛であ

り、宝は知識である。

SOURCES & CREDITS

Scripture: Kougo (Colloquial) (Public Domain (1955 口語訳聖書 — Japan Bible Society's own copyright page confirms the copyright protection period has ended; see registry/JAPANESE_LEGAL_PATH.md. Moral/integrity rights are preserved under Japanese law, so the text is rendered verbatim only, never altered -- pipeline.VERBATIM_LANGS.)) — a redistributable edition, looked up exactly and never machine-translated.

Alternate chapter/verse numbering reconciled with STEP Bible TVTMS (CC BY 4.0).

Strong's numbering & original-language data: OpenScriptures Hebrew Bible (CC BY 4.0); STEP Bible.org — TAHOT/TAGNT/TBESH/TBESG (CC BY 4.0); Robinson-Pierpont Byzantine Majority Text (Public Domain); Strong's dictionary, 1890 (Public Domain).

Typography: Google Noto fonts (SIL Open Font License 1.1).

© SEE MORE JESUS • wanttoseemore.com — shared under Creative Commons Attribution 4.0 (CC BY 4.0).